

大	豆	小	豆	ア	ヒ	コ	キ	トウモロコシ	ソ	サツマイモ(甘藷)	サツマイモ切干	ジャガイモ(馬鈴薯)	前年ニ比シ増減(△印ハ減)		
													作付反別	收 穫 高 價 額	
一五、六四五・八反	一二七、九七八・一	一六四一、五二七	一七六・八反	三三、一〇五石	四〇九、八七四	二、八五〇・三	一八、九一一	二七九、八九二	△ 七〇・七	二、一一三	二、三三五	二、一九九・五	三一、九九九	△ 一、八三二	四八、五七五
六一・九	一、二〇四	五、四三三	八・二	二一七	一、八五二	三六・七	四五四	三、一九六	八・六	九三	一、〇七五	一、一六七・二	一九、四五〇	△ 一、三五六	四、五二八
三、九八三・九	三二、三八四	二七九、三四六	△ 三〇九・二	△ 一七、七二四	△ 六八、八〇二	一〇、九六〇・一	三五、八六五、六九〇	二、五一三、一一六	八五一・二	二、四〇四、二〇四	一六三、〇八七	七、七八八	七、七八八	△ 二六六、九七八	△ 四五、二五〇
三、八三三・〇	五、七五九、五七五	四〇九、九七六	一・二	△ 二六、三七四	△ 九、五二四	三、八三三・〇	五、七六四・七三〇	七六一・〇	七六一・〇	七六一・〇	五一九、四九四	三、八三三・〇	五、七六四・七三〇	△ 二六、三七四	△ 九、五二四

寄贈圖書

昭和九年 岐阜縣勢要覽	岐 阜 縣	昭和九年 佐賀縣統計速報	佐賀縣知事官房統計課
昭和九年 靜岡縣の財政	靜 岡 縣	昭和九年 佐賀縣統計速報	佐賀縣知事官房統計課
昭和八年度 通信統計要覽	遞 信 省	第五卷第二號 資源	資 源 局
昭和八年 兵庫縣工場一覽	兵 庫 縣	昭和九年 版鳥取縣勢要覽	鳥 取 縣
第一一二號 貨物統計月報	內 務 省	昭和九年 佐賀縣勢要覽	佐 賀 縣
第十回 警察統計報告	警 察 廳	第三十四回 兵庫縣勢要覽	兵 庫 縣
昭和八年 關東廳第二八統計書	關 東 廳	昭和九年 刊行 香川縣勢要覽	香 川 縣
一月號 統計時報	奈 良 縣	昭和九年 刊行 宮城縣勢要覽	宮 城 縣
第四號 統計時報	佐 賀 縣	第四卷第一號 工業現勢	東 京 工 業 大 學 工 業 調 査 部
昭和八年 佐賀縣統計書(第一、二、三編)	佐 賀 縣	昭和六年 第五回 海軍省年報	海 軍 大 臣 官 房
十二月 小賣物價月報	商 工 大 臣 官 房 統 計 課	昭和九年 兵庫縣の面積及人口	兵 庫 縣 內 務 部 統 計 課
		昭和九年 兵庫縣夏秋蠶統計	兵 庫 縣 總 務 部 統 計 課

統計に現はれた耕地の動き 開墾による千四百町の増加

昭和九年末現在に於ける本縣の耕地總面積は二十一萬八千三百五十六町八段歩にして之を田、畑別に分つと田九萬五千六百七十町九段歩(四割三分八厘)畑十二萬二千六百八十五町九段歩(五割六分二厘)となり前年に比し總數に於て八百八十九町六段歩(零割零分四厘)を、田に於て百四町九段歩(零割零分一厘)畑に於て七百七十五町七段歩(零割零分六厘)をそれぞれ増加した、しかし耕地面積の昭和九年中に於ける年内移動を觀るに増加面積千七百八十四町九段歩に及び内擴張千七百七十七町一段歩(九割六分二厘)實測の結果に依る増加六十七町八段歩(零割三分八厘)で減少面積は九百四町三段歩である、この内潰廢したるもの八百八十四町歩(九割七分八厘)實測の結果に依る減少二十町三段歩(零割二分二厘)となつて之を田、畑別にすると左の如くなる

増 加		減 少	
擴 張	實 測	潰 廢	實 測
田	三三三・九	六六・一	三三三・一
			九・六

畑一、三三三・二 一・七 五一〇・九 一〇・七
更に擴張、潰廢を種類別に觀れば

(擴 張)		(潰 廢)	
開 墾	一、四一七・〇	宅地並工場建物	九六・四
埋立及干拓	一三八・七	道路、鐵道、軌道	二八七・四
地 復 舊	二〇〇・〇	河川及水路敷地	一八・四
地 目 變 換	一四一・四	荒 地	一八・四
		地類及地目變換	四八一・八

となる、以上の外田、畑相互間に於ける移動面積は田を畑となせるもの四町三段歩、畑を田となせるもの四十一町九段歩である。
次に耕地面積を郡市別に觀ると稲敷郡の二萬二千七百四十四町七段歩(一割零分四厘)首位を占め新治郡の二萬一千四百四十四町二段歩(零割九分八厘)東茨城郡の二萬九百四十六町七段歩(零割九分六厘)之に亞ぎ其の他(水戸市を除き)は孰れも二萬町歩以下にして多賀郡の六千九百六十六町八段歩(零割三分二厘)を最少とする。之を郡市別に示せば次の如し。

郡市名	年 末 現 在			前年ニ比シ増減(△印ハ減)			年 内 異 動			
	耕 地	田	畑	耕 地	田	畑	擴張	實 測	潰 廢	實 測
水 戸	三九七・三反	一三二六反	二五七・七反	△一五・六反	四・三	△一九・九	一反	一反	一五・六反	一
東 茨 城	二〇、四六・七	七、〇六・七	一三、八〇・〇	一八・一	△一六・一	二四・二	三六・七	—	五五・〇	三・六
西 茨 城	一〇、三九・二	五、〇四・六	五、三六・六	二・八	△一四・〇	二五・八	二五・八	二五・三	五九・三	—
那 珂	一八、七五・二	五、七四・九	一三、〇〇・三	五・五	△四・七	五九・二	一八・二	三・五	一三二・四	五・八
久 慈	一四、三六・四	六、七三・八	七、六四・六	△一七・八	△一九・六	一・八	三〇・三	〇・三	四七・四	一・〇
多 賀	一六、六六・八	三、七七・二	三、八九・六	△二・二	△五・七	五・五	三三・五	〇・一	三六・八	—
鹿 島	一六、二二・二	六、四三・三	九、七八・九	三〇・一	一・五	二〇・六	三六・七	〇・三	二八・九	—
行 方	一〇、五九・二	五、九三・〇	四、四七・二	七〇・八	二一・七	五九・一	九・四	〇・二	三三・八	—
稻 敷	三三、七四・七	一三、四四・八	九、四九・九	一〇五・一	五・五	四八・六	二四・三	—	一四・二	—
新 治	二二、四四・二	九、四六・三	二、一九・九	二二・七	△一六・〇	二七・七	一七・五	〇・一	六〇・九	—
筑 波	一五、二四・八	七、五三・九	八、〇六・九	五・二	二九・三	三三・九	〇・八	—	五五・六	—
眞 壁	一九、〇三・八	九、四九・六	九、八七・二	三〇・五	三・四	一五・一	七・七	—	四三・二	—
結 城	一六、三三・〇	六、二五・二	一〇、二五・八	三・四	二七	三三・七	八二・九	—	四七・五	—
猿 島	一六、二六・三	四、三六・七	二、七四・六	五・五	△一〇・〇	六〇・五	九三・八	—	四三・三	—
北 相 馬	八、六八・〇	四、八二・三	三、八七・七	六・五	元八	二二・三	五二・五	一〇・〇	四六・一	九・九
合 計	二八、三六・八	九、六〇・九	一三、六六・九	八八・六	一四・九	七五・七	一、七七一	三六・八	八八四・〇	二〇・三

全 國 の 米 收 穫 高

農林大臣官房統計課発表

尙参考の爲最近五箇年間に於ける作付段別及收穫高を掲ぐれば左の如し

年	(作 付 段 別)	(收 穫 高)
昭和四年	三、二一〇、六〇四・一 _反	五九、五五七、六九四
昭和五年	三、二三九、三二一・六	六六、八七五、九三五
昭和六年	三、二四八、七一九・五	五五、二一五、二六三
昭和七年	三、二五七、〇〇九・四	六〇、三九〇、〇九八
昭和八年	三、一七三、二〇三・三	七〇、八二九、一一七
自昭四年至同八年五箇年平均	三、二二五、七七一・六	六二、五七三、五四二
昭和九年	三、一七二、八七三・九	五一、八三九、六二九
同第一回豫想收穫高	—	五七、〇二六、七八〇
同第二回豫想收穫高	—	五〇、七四六、一四〇

(備考) 本年作付段別に於て曩に發表したるものと相違あるは今
回沖繩縣の第二期作分を加へたと其の後訂正報告の地
方ありたるに由る

昭和九年に於ける米收穫高は五千八百八十三萬九千六百二十九石にして之を前年收穫高に比すれば千八百九十八萬九千四百八十八石(二割六分八厘)を前五箇年平均收穫高に比すれば千七百七十三萬三千九百三十三石(一割七分二厘)を減少せり

而して其の作付段別は三百七十七萬二千八百七十三町九段にして全國平均一段歩收穫高は一石六斗三升四合に當る

蓋し本年の稲作は東北方面に於ては氣候冷涼の爲生育著しく阻害せられたるものあり、又九州四國方面に於ては降雨極めて少く旱害發生するに至り九月二十日現在に於ける第一回豫想は五千七百二萬六千七百八十石と豫想せられたり、而して右第一回豫想直後暴風雨の大被害あり、其の後の氣候も概して低溫寡照にして適順を缺きたる爲登熟阻害せられたるものありて、十月末日現在に於ける第二回豫想に於ては第一回豫想に比し六百二十八萬六百四十石の減少を示せり、然れ共、其の後の天候概して順調なりしと被害の見積大なるものありしとに因り實收高に於ては、第二回豫想に比し百九萬三千四百八十九石(二分二厘)の増加を示せり